

「好き」だけが原動力じゃない！
地道な努力で花開いた自分の道

鳴海貴子さん

NARUMI TAKAKO

香川大学農学部
アグリサイエンスコース
准教授・博士（農学）

▶ 挫折から一念発起、猛勉強で大学院へ

とにかく遊んでばかりの学生で、大学受験では「現役合格した大学に一浪してまた入り直す」というとんでもない回り道をしました。ようやく目が覚めてきっぱり心を入れ替え、絶対に博士号を取ると決めて高校の復習から基礎を鍛え直す猛勉強の日々。当時話題になっていた「青いバラをつくる」みたいな研究がしたいと思って選んだ植物を扱う研究室で、実際に与えられたテーマは「植物の病害応答に関して」でした。卒業研究を通して、自分の興味関心以上に「目の前の現象を冷静に見極めて理解する」ことを学びました。やると決めたら極端なくらい突き進むのは、私の性格です。



▶ 目の前のテーマに打ち込んだ先に…

大学院の研究室が「修業期間中は与えられたテーマに真摯に取り組みなさい」という方針だったことから、幅広いスキルが身について大抵の園芸植物は分析できるようになり、博士号を取得後も国の花き研究機関の大規模プロジェクトなどを通じて知見を広げました。自分の「好き」だけにとらわれない経験とスキルが積み重なったからこそ、「花の見た目を変える」「花の咲く仕組みを調べる」など、やりたかったことに近いテーマを扱える環境が今ようやく整ったんだと思います。

▶ 周囲と支え合って研究と家庭を両立

やると決めたらとことんやる、根っから実験が大好きな私にとって、研究生活と家庭の両立は、本音を言うと難しいとは感じます。でも、事務員さんをはじめとする周囲のサポートで乗り越えられたことがたくさんありました。男性の先生方も育児に積極的な人が多くて理解が深く、相談に乗ってもらえるのは大きかったですね。困った時に互いに支え合える、とても心強い環境です。

Profile

青森県生まれ。青森大学工学部生物工学科を卒業後、東北大学大学院農学研究科で環境修復生物学を専攻。独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構花き研究所などでの研究員生活を経て、2008年から香川大学農学部助教、2012年から現職。

▶ 家族と過ごすひととき

休日は息抜きに本を読んだり映画を観たりしていましたが、家族ができてからはオフのスタイルもちょっと変化。最近は11歳の我が子と「名探偵コナン」を観るのが楽しみ。



中高生への Message

「為せば成る為さねば成らぬ何事も 成らぬは人の為さぬなりけり」という上杉鷹山の格言は、大学受験の大きな挫折を経て生き方を180度変えた時の励みとなりました。「経験は宝、失敗は成功のもと」、そして選ぶのは「自分」です。どんな「自分」になりたいのかをじっくり見極めて、チャレンジしてください。

農学部
アグリサイエンスコース

フィールド技術から生命科学の知識まで幅広く実践的に学び、アグリサイエンスの理論を体系的に学習しつつ、実験やフィールド実習を通して自ら検証していきます。

